



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場取引所 東大

上場会社名 フジテック株式会社

コード番号 6406 URL <http://www.fujitec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内山 高一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 財務本部長 (氏名) 北川 由雄

TEL 0749-30-7111

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日 配当支払開始予定日 平成23年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	48,717	△1.8	2,085	△8.7	2,066	△11.5	1,031	△9.2
23年3月期第2四半期	49,585	1.1	2,284	260.1	2,334	131.1	1,135	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 1,311百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △373百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	11.02	—
23年3月期第2四半期	12.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	107,807	67,495	58.4
23年3月期	104,817	67,161	59.9

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 62,989百万円 23年3月期 62,810百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.00	—	7.00	12.00
24年3月期	—	5.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	7.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	104,000	1.9	5,700	9.2	5,900	8.3	3,300	△56.4	35.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	93,767,317 株	23年3月期	93,767,317 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	196,220 株	23年3月期	193,269 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	93,572,225 株	23年3月期2Q	93,578,126 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
(1) 受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(金額単位：百万円未満切捨て)

	前第2四半期 連結累計期間 (平成22年4月1日～ 平成22年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (平成23年4月1日～ 平成23年9月30日)	前年同期比 (%)
売上高	49,585	48,717	△1.8
国 内	23,092	22,139	△4.1
海 外	26,492	26,577	0.3
営業利益	2,284	2,085	△8.7
経常利益	2,334	2,066	△11.5
四半期純利益	1,135	1,031	△9.2
1株当たり四半期純利益	12.14円	11.02円	—

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、中国、インドでは内需を中心に高い成長率を維持しましたが、その他のアジア地域では景気拡大が鈍化し、欧米では景気の減速が鮮明となるなど、総じて緩やかな回復にとどまりました。日本経済は、東日本大震災の影響による落ち込みから、サプライチェーンの復旧に伴い、持ち直しているものの、海外の景気減速や円高の影響などで厳しい状況が続きました。

昇降機業界におきましては、中国市場では集合住宅向けを中心に需要が堅調に拡大しましたが、北米、欧州の建設市場は回復には至りませんでした。日本では、震災後、一部に需要回復の兆しがあるものの、総じて低調に推移しました。

このような情勢の下、当第2四半期連結累計期間における国内市場では、経済的なコストと短工期で、既設エレベータの安全性・快適性を一段と高める「制御盤交換パッケージ」の受注が伸長するなど、モダニゼーション事業が順調に拡大しました。一方で、エレベータ・エスカレータの需要が低調な中、新設工事が減少したことにより、国内受注高は234億67百万円（前年同期比2.0%減）となりました。海外市場においては、北米で新設工事が減少したのに対し、中国で集合住宅向けエレベータ「GLVF-E」を中心に新設工事が大きく増加し、南アジアでも新設工事が増加したことにより、海外受注高は290億25百万円（同8.3%増）となりました。以上の結果、受注高合計は、524億92百万円（同3.4%増）となりました。なお、海外受注高は為替変動による影響を除くと、実質16.3%増となっています。

売上高は、国内売上高221億39百万円（同4.1%減）、海外売上高265億77百万円（同0.3%増）となり、487億17百万円（同1.8%減）となりました。海外売上高は為替変動による影響を除くと、実質では7.7%増となりました。

受注残高は、国内では、モダニゼーション工事の増加に伴い、368億95百万円（前年度末比3.9%増）となり、海外では、南アジア、東アジアが共に増加したものの、北米での減少や為替の円高もあり、640億29百万円（同1.8%減）となりました。この結果、受注残高合計は、1,009億25百万円（同0.2%増）となりました。

損益面では、日本で増益の一方、北米および東アジアでの減益により、営業利益は20億85百万円（前年同期比8.7%減）、経常利益は20億66百万円（同11.5%減）となりました。特別損益の純額は、88百万円の利益となり、税金等調整前四半期純利益は21億55百万円（同14.4%増）となりました。四半期純利益は、税金費用が前年同期比4億3百万円増加したことにより、10億31百万円（同9.2%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

(金額単位：百万円未満切捨て)

	売上高			営業利益		
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比 増減額
日本	25,384	23,609	△7.0	275	518	243
北米	5,968	5,031	△15.7	△150	△409	△259
欧州	370	226	△38.8	12	△13	△25
南アジア	4,869	4,805	△1.3	763	818	55
東アジア	15,475	17,688	14.3	1,521	1,164	△356
小計	52,068	51,362	△1.4	2,422	2,079	△343
消去	△2,483	△2,645	—	△138	6	144
連結	49,585	48,717	△1.8	2,284	2,085	△198

(日本)

売上高は、モダンゼーション工事が順調に増加したものの、新設工事の減少により、236億9百万円（前年同期比7.0%減）となりました。営業利益は、モダンゼーション工事の利益増により、5億18百万円（同2億43百万円増）となりました。

(北米)

売上高は、新設工事の減少により、50億31百万円（前年同期比15.7%減）となり、営業損益は、売上高の減少と新設工事の原価増もあり、4億9百万円の営業損失（前年同期 営業損失1億50百万円）となりました。

(欧州)

売上高は、エスカレータ販売が減少し、2億26百万円（前年同期比38.8%減）となり、営業損益は売上高の減少に伴い、13百万円の営業損失（前年同期 営業利益12百万円）となりました。

(南アジア)

売上高は、前年同期比1.3%減の48億5百万円となりましたが、営業利益は、新設工事の原価削減により、8億18百万円（同55百万円増）となりました。

(東アジア)

売上高は、中国でのエレベータ新設工事が大きく増加し、176億88百万円（前年同期比14.3%増）となり、営業利益は、香港や韓国での新設工事の採算低下などで、11億64百万円（同3億56百万円減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産額は、1,078億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ、29億89百万円増加しました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少に対し、現金及び預金ならびに原材料及び貯蔵品が増加したことによります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ、26億55百万円増加し、403億12百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加した一方、支払手形及び買掛金ならびに前受金が増加したことによります。

純資産額は、674億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ、3億33百万円増加しました。これは主に、四半期純利益で利益剰余金が増加したことによります。また、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は58.4%（前年度末比1.5ポイント減）となり、1株当たり純資産額は673.18円（同1.94円増）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、140億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ、57億94百万円増加しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益21億55百万円、減価償却費10億71百万円、売上債権の減少および仕入債務の増加などで、73億39百万円（前年同期比32億18百万円増）の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得6億93百万円に対し、定期預金（期間が3ヵ月超）の預入れ・払戻しの純額13億11百万円の収入などで、9億60百万円の収入（前年同期 8億28百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金の減少19億75百万円および配当金の支払いなどにより、25億71百万円（前年同期比12億83百万円減）の支出となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、前期決算発表時（平成23年5月13日）の見通しを変更していません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しています。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,359	25,806
受取手形及び売掛金	26,213	23,995
商品及び製品	2,442	2,968
仕掛品	2,109	2,114
原材料及び貯蔵品	5,085	5,774
その他	5,121	3,919
貸倒引当金	△444	△582
流動資産合計	61,887	63,996
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,305	18,328
機械装置及び運搬具（純額）	2,100	2,250
工具、器具及び備品（純額）	1,354	1,396
土地	6,832	6,814
リース資産（純額）	14	11
建設仮勘定	909	356
有形固定資産合計	29,517	29,157
無形固定資産		
のれん	816	750
その他	1,971	1,920
無形固定資産合計	2,788	2,671
投資その他の資産		
投資有価証券	4,434	3,958
長期貸付金	20	1,917
その他	6,350	6,248
貸倒引当金	△179	△142
投資その他の資産合計	10,625	11,982
固定資産合計	42,930	43,811
資産合計	104,817	107,807

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,567	12,279
短期借入金	2,389	417
1年内返済予定の長期借入金	2,312	2,312
未払法人税等	563	683
賞与引当金	1,676	1,501
工事損失引当金	2,394	2,475
その他の引当金	456	319
前受金	6,607	9,580
その他	4,725	4,255
流動負債合計	31,693	33,824
固定負債		
長期借入金	1,287	1,493
退職給付引当金	4,375	4,738
その他	300	255
固定負債合計	5,962	6,487
負債合計	37,656	40,312
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,533	12,533
資本剰余金	14,565	14,565
利益剰余金	55,744	56,120
自己株式	△128	△129
株主資本合計	82,715	83,090
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	404	230
為替換算調整勘定	△20,309	△20,331
その他の包括利益累計額合計	△19,904	△20,100
少数株主持分	4,350	4,505
純資産合計	67,161	67,495
負債純資産合計	104,817	107,807

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	49,585	48,717
売上原価	40,048	39,050
売上総利益	9,537	9,666
販売費及び一般管理費	7,252	7,580
営業利益	2,284	2,085
営業外収益		
受取利息	115	116
受取配当金	75	69
助成金収入	101	—
その他	152	105
営業外収益合計	444	291
営業外費用		
支払利息	89	49
為替差損	167	194
その他	136	66
営業外費用合計	394	310
経常利益	2,334	2,066
特別利益		
固定資産売却益	570	0
投資有価証券売却益	1	18
受取和解金	—	150
特別利益合計	572	169
特別損失		
固定資産除売却損	7	22
投資有価証券売却損	—	7
投資有価証券評価損	91	51
貸倒損失	906	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	16	—
特別損失合計	1,022	80
税金等調整前四半期純利益	1,883	2,155
法人税、住民税及び事業税	651	557
過年度法人税等戻入額	△284	—
法人税等調整額	△72	140
法人税等合計	294	697
少数株主損益調整前四半期純利益	1,588	1,457
少数株主利益	452	425
四半期純利益	1,135	1,031

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,588	1,457
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△511	△174
繰延ヘッジ損益	2	—
為替換算調整勘定	△1,453	28
その他の包括利益合計	△1,962	△145
四半期包括利益	△373	1,311
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△512	835
少数株主に係る四半期包括利益	139	476

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,883	2,155
減価償却費	1,167	1,071
貸倒引当金の増減額(△は減少)	53	103
受取利息及び受取配当金	△191	△185
賞与引当金の増減額(△は減少)	△715	△183
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△108	101
売上債権の増減額(△は増加)	3,571	2,193
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,840	△1,274
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,160	1,734
前受金の増減額(△は減少)	△1,273	2,985
有形固定資産除売却損益(△は益)	△562	21
貸倒損失	906	—
その他	△562	△967
小計	4,849	7,755
法人税等の支払額	△728	△415
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,121	7,339
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,528	△2,337
定期預金の払戻による収入	3,146	3,649
有形固定資産の取得による支出	△2,125	△693
有形固定資産の売却による収入	571	17
投資有価証券の売却による収入	5	143
利息及び配当金の受取額	154	157
その他	△52	23
投資活動によるキャッシュ・フロー	△828	960
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,816	△1,975
長期借入れによる収入	—	216
長期借入金の返済による支出	△64	△6
利息の支払額	△70	△37
配当金の支払額	△561	△654
少数株主への配当金の支払額	△335	△209
その他	△6	94
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,854	△2,571
現金及び現金同等物に係る換算差額	△260	65
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△822	5,794
現金及び現金同等物の期首残高	7,839	8,223
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△1	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,015	14,018

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注2)
	日本	北米	欧州	南アジア	東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	23,785	5,953	369	4,810	14,665	49,585	—	49,585
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,598	14	0	58	810	2,483	△2,483	—
計	25,384	5,968	370	4,869	15,475	52,068	△2,483	49,585
セグメント利益又は 損失(△)	275	△150	12	763	1,521	2,422	△138	2,284

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△138百万円には、セグメント間取引消去△68百万円、のれんの償却額△46百万円およびたな卸資産の調整額△22百万円が含まれています。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注2)
	日本	北米	欧州	南アジア	東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	22,163	5,021	224	4,804	16,503	48,717	—	48,717
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,446	10	2	1	1,184	2,645	△2,645	—
計	23,609	5,031	226	4,805	17,688	51,362	△2,645	48,717
セグメント利益又は 損失(△)	518	△409	△13	818	1,164	2,079	6	2,085

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額6百万円には、セグメント間取引消去8百万円およびたな卸資産の調整額△2百万円が含まれています。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 受注及び販売の状況

①受注状況

当第2四半期連結累計期間における国内・海外別の受注および受注残高は次のとおりです。

	受注高(百万円)	前年同期比(%)	受注残高(百万円)	前年度末比(%)
国内	23,467	△2.0	36,895	+3.9
海外	29,025	+8.3	64,029	△1.8
合計	52,492	+3.4	100,925	+0.2

(注) 上記の金額に消費税は含めていません。

(当第2四半期連結累計期間における主な受注物件)

所在地	納入先	概要
米国・ニューヨーク州	グラニット・ブロードウェイ	地上66階建の超高層複合ビル向けエレベータ
アルゼンチン・ブエノスアイレス	955 ベルグラノー・オフィス	地上36階建の高層オフィスビル向けエレベータ
シンガポール	ビジネス・ハブ・イシュン	最先端設備のオフィスビル向けエレベータ
シンガポール	シンガポール住宅開発局	高層住宅用エレベータの新設工事およびモダニゼーション工事 計800台
マレーシア・ジョホール州	トレーダースホテル イスカンダル	エレベータ・エスカレータ 計40台
韓国・ソウル	レミアン・クレシティ	高級住宅向けエレベータ79台
中国・上海市	中国人寿データセンター	オフィスビル向けエレベータ
東京都	(仮称) 21・25 森ビル建替計画	地上20階建の高層オフィスビル向けエレベータ・エスカレータ
東京都	東京都庁第二本庁舎	既設エスカレータのモダニゼーション工事

②販売実績(売上高)

当第2四半期連結累計期間における国内・海外別の販売実績(売上高)は次のとおりです。

	販売高(百万円)	前年同期比(%)
国内	22,139	△4.1
海外	26,577	+0.3
合計	48,717	△1.8

(注) 上記の金額に消費税は含めていません。

(当第2四半期連結累計期間における主な完成物件)

所在地	納入先	概要
中国・四川省	錦秀城一期新居工程	住宅開発プロジェクトにエレベータ56台を納入
広島市	広島法務総合庁舎	地上12階建の新庁舎にエレベータ9台を納入
那覇市	那覇新都心センタービル	地上18階建の高層複合ビルにエレベータ7台を納入